

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	京都精華大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウトセイカダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F126310107644
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	京都府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	芸術学部、デザイン学部、マンガ学部、ポピュラーカルチャー学部、人文学部
	担当教職員名・役職	福岡 正藏
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	15
	受入企業等数	20
	受入企業等名	(株)界グラフィックス、(株)GOOFEES、コトスタイル(株)、シンクイノベーション(株)、(株)morondo、(株)からふね屋、(株)上部、他13社
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ
2.有給インターンシップ		
5.他県をまたぐ広域インターンシップ		
6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ		
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
		2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
1-3.上記回答内容に関する詳細	ゲームや広告等を制作するクリエイティブ企業で就業するプログラムであり、夏休み2週間就業する「就業型」プログラムの他、企業とプロジェクトチームを組み新商品や新サービスを開発する「プロジェクト型」プログラムがある	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している
		2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している
		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
		7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している	
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年	
	大学 学部3年	
	大学 学部4年	
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位	

	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部2～4年を対象。全学共通科目・選択科目として、授業期間中・休業期間中に実施し、2単位を付与する
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ中に、教職員がオンラインで企業担当者や学生と面談を実施している	
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促すとともに、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行い、直前にはメールの使い方マナー、社会人としてのマナー、履歴書の書き方、守秘義務の遵守等を身に付ける授業を2コマ実施している	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	「インターンシップ報告会」実施により、インターンシップの成果について、受入企業にフィードバックを行うとともに、1・2年生に次年度参加へのアドバイスをを行っている。また報告会に向け、プレゼンテーション講座を実施している	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	非常事態宣言発令により、対面のプログラムは中止、もしくはオンラインに変更となったため、モニタリングもオンラインで実施した	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	

	4-3.上記回答内容に関する詳細	日報の作成により、毎日の進捗・振り返り・課題を明記するとともに、企業担当者からフィードバック・アドバイスを得られている
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	10日
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	基本的には2週間・週休2日の10日間の就業体験で、事前学習は4コマ、事後学習は2コマ実施している
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	企業担当者からフィードバック・アドバイスを毎日いただくとともに、プログラム終了後には学生の評価を総括してもらっている
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	
問い合わせ先	大学等名	京都精華大学
	担当部署名	学生グループ キャリア支援チーム
	担当者役職名	
	担当者氏名	福岡 正藏
	電話番号	075-702-5130
	メールアドレス	fukuoka@kyoto-seika.ac.jp